



クスリ子ちゃん

今回のテーマ：秋から冬にかけてインフルエンザに注意しましょう

インフルエンザってどんな病気？

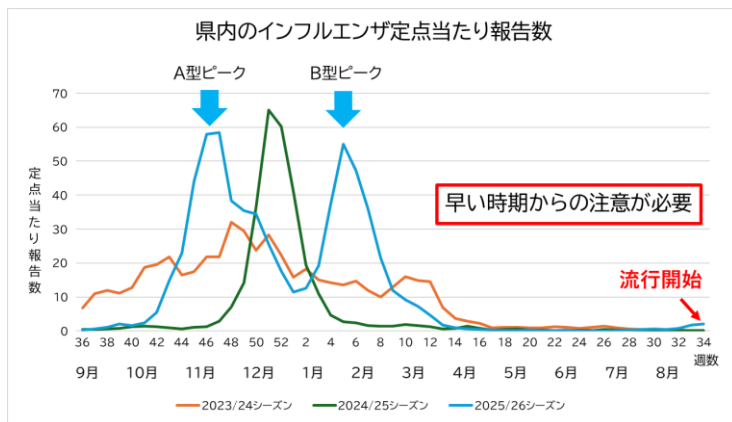
感染した人の咳やくしゃみ等のしぶき(飛まつ)を吸い込んだり、ウイルスがついた手で口や鼻に触れたりすることで感染します。

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身のけん怠感などの症状が比較的早く現れるのが特徴です。のどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力が低下している方では細菌による肺炎を伴うなど、重症化することがあります。

流行シーズンについて

例年12～3月の冬季に流行するといわれています。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行以降、流行時期に変化がみられています。昨シーズンは10月から報告数が増加し始め、11月にA型インフルエンザ、2月にB型インフルエンザが流行のピークを迎えました。

近年では流行の開始が早まる傾向にあり、今年は8月末に流行開始となったため、早い時期からの注意が必要です。



どうやって予防するの？

予防には、「手洗い」「咳エチケット」「換気」が有効です。

また、インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させ、重症化の防止に有効と報告されています。特に高齢者においては、ワクチンによって重症な肺炎などにかかることを予防できます。65歳以上の方と、60～64歳で一定の基礎疾患がある方は定期の予防接種として毎年1回接種ができます。

※インフルエンザワクチンの情報については、厚生労働省のホームページをご参照ください。
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/influenza/index.html#h2_free1)



出典：厚生労働省ホームページ
(<https://www.mhlw.go.jp/>)

インフルエンザは早い時期からの注意が必要です。手洗いやワクチンで対策をしましょう。また、咳エチケットや換気を行い予防に努めましょう。

県内のインフルエンザ流行状況および感染症の情報は、茨城県感染症情報センターのホームページからご確認いただけます。

・インフルエンザ流行情報

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/infkuenza_index.html

・茨城県感染症情報センター

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/index.html>



ウイルス部作成



アンコウ先生